

統一協会が推進する「家庭教育支援法」

此のことが提出した政策提議書(同上)によれば、内状が添付されていました。この内状は、内閣の報道機関と国営後援会の報道機関との連絡手帳で初めて「報道機関」として登場したことでした。

案内状には、同世話を人間の名前があり、地方議員（當時）と元議員の計5人
が記載されました。このうち少なくとも3人が民衆に所属し、國政に転じた東園幹、石橋太郎の両衆院議員と加田裕之衆院議員の名前もありました。

（明治三十一年五月三日） 東京・水田町の衆議院第2議員会館にある会議室（定員120人）で「第3回全国地方議員研修会」が開かれた。主催団体は、全国地方議員連絡会議事務局で、方議員連絡会議事務局幹事長が開会式で述べた。

田原は「議論を出でしむる場所が政界と統一協会（田原和統一議論場）の発祥が名門で問題だな」といふ。本紙の語りで、統一協会の議論場は創始を求める「家庭教育と憲法」の研修会／多くの地方議員が協力していた実態が浮き彫りになりまし
た。

自民地方議員研修会に協力

世話人 無所属など含め57人

第5回 全国地方議員研修会のご案内
家庭教育支援法、家庭教育支援条例の制定実現に向けて
少子化、子供の貧困、いじめ、虐待など、児童青少年に関する具体的な問題についてお話しします。また、家庭教育の現場は家庭であり、家庭教育支援法、家庭教育支援条例の制定実現に向けて、今後より積極的な青少年政策が実現するための提言を行います。

第3回研修会の表内状に掲載された「全国地方議員連絡会議世説人会」の名簿

西条新作の強烈な回りだ
「相手の打が合わない」
で、藤田忠が返答質問をせり出
した記憶があつた。打
かぬわせば18年3月19日
統一競馬の日本本部が公
開説明会の内閣総理大臣に

した。東京との密接性から見て、
「御園東」で審定された

統一協会（世界平和統一家庭連盟）関係者が連携研究会にて全国地方議員研修会は、2015年の月の第一回から毎回まで開かれています。本紙は、研修会の主催団体「全国地方議員連絡会議世話人会」の名義で記載された地方議員や元議員に質問状を送り、参加した議員とも電話で取材しました。

（統一協会取材班）

統一協会

世話へじてお詫びがあった東京都足立区議の古井原照氏（自由民主党）は、本紙の質問状に「手帳であると出席してあります。彼らの掲げておられる平和家庭教育の考え方共曉するものがあるので参加しました」と答えました。「政務活動費は使つていなら」としています。

政活費支出

第5回に参画した静岡県裾野市議の藤又豊（無所属）は、資料代（3000円）を政活費で支払つてしまつた。

自民議員「考え共鳴」

【事業名、用途及び内容等】第5回全国地方議員研修会

日時：令和3年5月14日（金）午後2時～午後5時

会場：参議院議員会館101会議室

テーマ：家族と地域をつなぐ家庭教育支援～コロナ禍

主催：全国地方議員連絡会議世話人会

【領収書その他証拠書類貼付欄】（注1）

資料代：3,000円

6-①

振込手数料：220円

振込日：令和3年5月6日

振込先：平和大使協議会

藤又豊・静岡県裾野市議が研修会の資料代を平和大使協議会側に振り込んだことを記した報告書（一部加工）

研修世話人名簿登載

政治費の使途を記した領収書や添付された銀行の明細書に「政治費で支出」「家庭のあゆみ」「資料代の控除先」と統一協会の関連団体「平和大使協議会」の名前が記載があるました。藤又豊は「当時は東京の会場まで行く予定だったが、オンラインで開催になったが、オンライン開催に変わった。主催者に振り込んだ」と説明しました。

同じく第5回研修会でオンラインで開催した群馬県議の牛木義正（自由民主党）も資料代を「政治費で支出した」と説明しました。牛木義正は「当時、知り合った世界平和女性連合のメンバーから『名前を載せたい』と協力を求められた。統一協会の関連団体として知らなかった」と説明しました。

名前を載せたい」と協力を求められた。統一協会の関連団体として知らなかった。研修会に参加したことではない」と

記載されました。

説明しました。

一方、回答もない問題に答える前に記載されたところ愛知県議の鶴井隆介氏（自民党）は「生産に寄ってヒックつしてくる。案内を受けた記憶はない」「田舎もじつにな」と述べました。

国会議員も

関連団体が協力依頼

同研修会には、自民党的議員も参加していました。河村建夫元官房長官の名前がありました。第5回研修会ではオンラインで参加した鶴井隆介・熊本県議（自民党）のホームページによる「来賓として北村経夫参院議員がいました」とありました。

井國直樹社のアカウントでは、齊山周平衆院議員が第6回研修会に参加したいと認めています。

日本共産党的都道府県議会や党議連盟による認定でも、研修会に参加した議員は、次々と判明。北村経夫の大越慶子氏、三重県議の津田健太郎、鳥取県議の西川泰雄が第3回研修会に参加していました。

研修会に協力した地方議員のうち数人は、統一協会との関係を深めたいなどなかねないと認識して「不適切だ」と述べ、今後の対応を改めてお話を示しました。